

令和3年度 学位論文

| 氏名 | 学位論文題目 |
|-----------------------|--|
| 田中 航平 | これからの更生保護施設と更生保護についての考察 |
| 菊地 恵子 | 福島県の成年後見制度利用促進における現状と課題 |
| 上山 凌 | 東日本大震災からの復興と次世代に繋げる地域づくり ー先進事例から学び、岩手県宮古市の可能性を探るー |
| 小川 恵美子 | 災害サイクルの各局面における外国人支援について ー福島県での現状とこれからの対策ー |
| 齋藤 美香 | 大学における実践的福祉教育に関する研究 ～ルーブリックを使用した学生の主体形成～ |
| 高橋 正藏 | 障害者支援、その自発性の本質を捉える ーコミュニティ形成とスローライフの可能性 |
| ビショッフ スヴェン エン オイゲン | 女子向け書物に読むジェンダー |
| 許 宏偉 | 過疎地域の外部人材支援による地域活性化・地域課題解決についての考察 ー福島県西会津町奥川地区を事例としてー |

令和2年度 学位論文

| 氏名 | 学位論文題目 |
|--------|--|
| 清松 美穂 | 地域とエネルギーのあり方をデザインする —山形県庄内地方と福島県南相馬市に見る再生可能エネルギー と地域の共生の可能性— |
| 松崎 聡 | 原発事故による避難指示解除後の山木屋地区の地域コミュニティ 再生について |
| 阿部 浩佑 | 白人至上主義と公民権運動—KKKの事例より— |
| 高橋 怜奈 | 原発事故後の「分断」問題の構築 —学術論文と新聞記事を用い た言説分析— |
| ショウ カイ | 「資源型都市」の観光業への転換過程と影響分析 —福島県いわ き市を事例として— |
| 李 芳 | 日中アニメーション映画の比較研究について |

令和元年度 学位論文

| 氏名 | 学位論文題目 |
|--------|---|
| 森岡 修人 | アニメ聖地巡礼とそれを活用したまちおこしの可能性と課題 |
| 阿部 瑞輝 | 小規模農産物直売所はなぜ地域に必要とされるのか ー地域の交流拠点としての役割に注目してー |
| 押部 郁朗 | 中山間地域における地域医療の課題 ー奥会津3町村からの報告ー |
| 山屋 理恵 | 「子ども食堂」における地域づくりの可能性 ～母子家庭支援の視点から～ |
| 栗城 静太郎 | 本人申立てによる改名に関する若干の考察 |
| 進藤 翔平 | 子ども食堂の実態と関与者のエンパワーメント |
| 王 新育 | 現在の中国における日本映画の受容 |
| 徐 蔚然 | 『新世紀エヴァンゲリオン』を分析する |

平成 30 年度 学位論文

| 氏名 | 学位論文題目 |
|--------|--|
| 後藤 隆 | 地方自治体における事務事業評価の性質と有効性 ～ 福島県庁政策評価システムの検証を踏まえて ～ |
| 栗田 崇央 | 現代型訴訟としての生業訴訟－その政策志向的特質に着目して |
| 佐藤 純平 | 東日本における縄文時代土器製塩の成立と展開 |
| 樋川 誠 | 高齢社会における地域の支え合いによる高齢者見守り構築について －皆と地域が輝き続ける会津若松市門田町のまちづくりから－ |
| 馬場 大輔 | 浪江町における原発事故の影響及び長期避難に係る産業復興の課題 －一次世代経営者のインタビュー調査をもとに－ |
| 光家 由美子 | 保育士不足と環境改善の探究 －福島県A市公立保育士を対象として－ |
| 渡邊 歩 | 近世会津における郷頭と地域社会 |

平成 29 年度 学位論文

| 氏名 | 学位論文題目 |
|------------|---|
| 崎 亮瑛 | ドイツ農山村における住民たちのエネルギー転換 ーフクシマを考えるわたしがみた小さな村のまわりかた |
| 前田 茂司 | 被災地における映像文化の発展と地域再生 |
| 崔 天鶴 | 高齢者ボランティア活動参加の意義 |
| 鈴木 保子 | 中年期の健康関連 QOL と社会参加意識の実態 ～高齢期の不活発化を予防するために～ |
| 足沢 美由 貴 | 学校教育における性教育の現状と課題 ー専門家、行政、地域との連携を通してー |
| 平澤 慎 | 東日本における古墳時代後期の埴輪生産 ー阿武隈川流域を舞台としてー |
| 王 潤杰 | 地方都市中心市街地での土地区画整理事業 ー活性化に向けた活用についてー |

平成 28 年度 学位論文

| 氏名 | 学位論文題目 |
|------------------|---|
| 鎌倉 雅臣 | 府県における首長部局と教育委員会の生涯学習振興行政・社会 教育行政の再編 |
| 佐藤 朋美 | 東日本大震災・原発事故により明らかとなった公民館の役割と課 題 －福島市の学習センターの検証を通して－ |
| エレヘムバヤ ルホラン | ハルハ河戦争(ノモンハン事件)に関する一考察 －蒙日の歴史認識の相違を中心に－ |
| ニヤムデレグ エンフサラン | モンゴル母子家庭に関する研究 |
| リュウ カ カク | 東日本大震災後の福島県における高齢者介護サービスの今後の 課題 |
| 佐藤 宗太 | 食のグローバリゼーション －タイへの福島県農産物・加工品等輸出スキームと今後の課題 － |
| 橋本 暁 | 総合計画策定過程における市民討議会の活用 －中核市規模の自治体での活用に向けて－ |
| 渡部 陽子 | 契約による共同体の形成 －非法律婚カップルを中心に－ |

平成 27 年度 学位論文

| 氏名 | 学位論文題目 |
|--------|---|
| 藍原 寛子 | 核災害自主避難者の自律と新たな公共圏の出現 —「棄民」から「起民(Upstanders)」へ— |
| 庄司 睦夫 | 海面下にある土地の所有権客体性 —東日本大震災によって海没した土地所有権の行方— |
| 錦織 一臣 | 東日本大震災が顕在化させた「生きもの行政」の課題 —政策統合と総合化の可能性— |
| 長谷川 美香 | 母親コミュニティの現状と可能性 —震災後の福島における子育て支援の一助として— |
| 山崎 拓哉 | 市民による自治組織「スポーツ・フェライン」の社会的役割 —個人の多様な生き方を地域から社会へ公共化する— |
| 坂本 和也 | 東北地方南部弥生中期土器群の研究 —天神原式土器の再検討を軸に— |
| 清水 勇希 | 21 世紀初頭における文化財行政の動向と制度に関する研究 —「文化財行政学」の展望— |
| 中本 真司 | 桂園時代における福島県の支持政党の変化 —憲政本党から政友会へ— |
| 米田 千江美 | 現代英米文化における若者文化の影響力について |

平成 26 年度 学位論文

| 氏名 | 学位論文題目 |
|---------|---|
| 千田 祥平 | 民法改正における過剰保証規制の可能性 |
| 今野 沙貴子 | 経塚が示す地域性の研究 —東日本日本海側を中心に— |
| 鯨岡 比呂美 | 子ども文庫活動の展開と担い手の自己形成 —蓬萊団地(福島市)を事例として— |
| 小河 光治 | 子どもの貧困対策 現状と課題 —「子どもの貧困対策法」成立と大綱策定の過程の中で— |
| 北村 育美 | 東日本大震災で原発事故により避難を余儀なくされた住民の「喪失」に関する研究 |
| 八重樫 小代子 | 「介護の社会化」と高齢者の生活実態 —東日本大震災から3年を経た福島県郡山市を事例に— |
| 加藤 正志 | 少子化を克服するために ～日本の人口を維持するための政策研究～ |
| 佐藤 由可子 | 製作技法から見る東北南部の瓦工人の動向 —腰浜廃寺出土の平瓦を中心に— |
| 名取 直美 | 高齢社会における災害時の要援護者支援体制の構築の研究 |
| 持田 夏海 | 「福祉のまちづくり」をめぐる自治体政策法務 |